

「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画 文部科学省の取組について

「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画 文部科学省関連部分の抜粋

1. 男性の意識改革(社会全体の意識改革を含む)

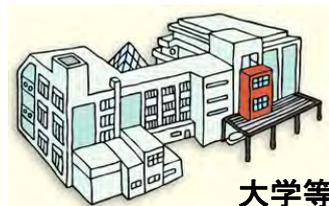
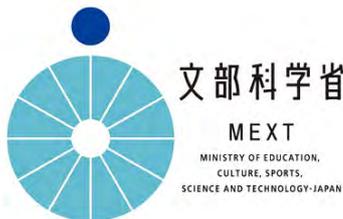
- ・女性の活躍促進の「見える化」総合プランの策定・推進(大学のキャリアセンターとの連携(就職希望者への「見える化」)
- ・大学・企業との連携や男女共同参画関連施設のネットワークの活用などにより、男性を対象とした意識啓発を進める総合的な施策を実施

2. 思い切ったポジティブ・アクション

- ・学校教育における早い段階からライフプランニング支援を含むキャリア教育を保護者への意識啓発を含め推進する
- ・理系女性の大幅な増加を目指し、女性研究者が出産・育児等と研究を両立できるようにするための支援、研究中断した場合の復帰や安定的なポストの増加のための支援のほか、初等中等教育段階や、大学段階を通じた進路選択支援等の総合的な対策を講じる

大学等と連携した女性活躍の「見える化」の推進

就職活動に取り組んでいる学生に対して、厚生労働省が開設している「ポジティブ・アクション情報ポータルサイト」の利用を促すため、大学や高等専門学校等に文書を発出(9月28日)するとともに、文部科学省のホームページや教育関係者会議において、ポータルサイトの周知に努めている。



文部科学省から全国の大学や高等専門学校等に、「ポジティブ・アクション情報ポータルサイト」を周知

キャリアセンター等

男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育の推進 (平成25年度)

男女共同参画の視点からの多様なキャリア形成支援

平成25年度概算要求
17百万円の内数

生徒一人一人が性別にとらわれることなく、主体的に進路を選択する能力・態度の育成を目指す



有識者による検討会

文部科学省に有識者による検討会を設置し、

- ① 固定的性別役割分担意識にとらわれないキャリア形成支援
 - ② 長期的な視点での人生設計を考えたキャリア形成支援
- の観点から進路指導上の課題や留意点を検討する。

検討会の成果を踏まえ教材(生徒・指導者用)を作成し、全国の高校に配布する



全国の高校

公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム

平成25年度概算要求
400百万円の内数

日本再生戦略に示された、すべての人に「居場所」と「出番」があり、全員参加、生涯現役で「新しい公共」の担い手となる「共創の国」の実現を目指す



地域社会が抱える様々な課題を解決のための公民館等の取組(「若者の自立・社会参画支援」「地域の防災拠点形成支援」など)を推進する。

その中で「女性の活躍を促進するためのキャリア教育」についても推進していく。

全国に約16,000館設置された「ソーシャルキャピタル」(社会関係資本)としての公民館を活用

理系女性大幅増プラン (平成25年度～)

我が国の理系分野を専攻する女子学生や女性研究者の割合は、先進諸国と比べて極めて低い水準にあるが、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来の中、科学技術を発展させ、豊かな社会を維持・創造するためには、理系女性の活躍が不可欠である。そこで、理系女性的大幅な増加を目指し、文部科学省の総力を結集し、学校段階や研究現場での女性支援を行う。

女性研究者の研究を奨励

特別研究員事業（RPD）

優れた男女の研究者が、出産・子育てから円滑に研究現場に復帰できるよう、研究者個人に対し、研究奨励金を給付。

大学の多様性などに関する強みを客観的に明らかにする評価指標の開発

大学における女性教職員の数や割合等的人的多様性を含む客観的評価指標を開発し、教育研究の活性化に資する大学の多様性に配慮。



女性研究者

研究とライフイベントを両立できる環境の整備

女性研究者研究活動支援事業

出産・子育て等と研究の両立を目指す女性研究者のための環境整備に取り組む大学等を支援。

出産・子育て等支援制度

（戦略的創造研究推進事業）

研究員のライフイベントの際に、男女共同参画促進費を当該研究者の所属する研究チームに支給。

女性医師等のキャリア形成支援

女性医師が勤務を継続できる仕組みをつくり、医師全体の勤務環境を改善するため、大学・大学病院において、医学生のカリヤ教育や女性医師等の勤務継続・復職支援などを実施。



グッドプラクティスの情報提供

理系を目指す女子生徒・学生の増加

女子中高生の理系進路選択支援

女性研究者等と女子中高生の交流の機会の提供や、実験教室、出前授業等の実施を支援。

「リケジョ」表彰の創設・推進

サイエンス・インカレや科学の甲子園等において、女子生徒・学生を表彰。

男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育の推進

生徒一人一人が性別にとらわれることなく、主体的に進路を選択する能力・態度の育成するため、固定的性別役割分担意識にとらわれないキャリア形成支援を推進。